

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：学校司書配置基金								
補助事業者名	武蔵村山市								
実施場所	武蔵村山市立小・中学校（14校）								
補助事業の成果の目標	<p>学習指導要領において、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童・生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実することと規定されていることから、学校図書館が児童・生徒の読書活動の拠点となるような環境整備や授業の狙いに沿った資料の収集などを行う必要がある。</p> <p>また、本市においては、教育振興基本計画（平成24年3月策定）で読書活動の推進を謳っていることから、各学校に学校司書を配置し、司書教諭等と協力しながら、児童の読書活動の更なる推進を図るものである。</p> <p>【参考指標】</p> <p>児童・生徒一人当たり貸出冊数</p> <p>平成23年度実績：23.09冊</p> <p>平成24年度実績：26.24冊</p> <p>平成25年度実績：28.79冊</p> <p>平成26年度実績：31.11冊</p>								
補助事業の内容	小学校及び中学校に配置する学校司書の人件費								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成23年度から平成33年度 基金の処分：平成24年度から平成33年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	23	8,567,000				8,567,000		8,567,000	
	24	10,000,000				10,000,000	10,000,000	8,567,000	11,587,000
	25	10,000,000				10,000,000	10,000,000	8,567,000	11,722,000
26	10,000,000				10,000,000	10,000,000	8,567,000	10,893,000	
27	10,000,000				10,000,000	10,000,000	8,567,000	10,838,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>27年度の児童・生徒一人当たり貸出冊数は32.53冊で、26年度（31.11冊）と比較すると1.42冊増加していることから、児童・生徒の読書活動の更なる推進を図ることができたと考える。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <p>市ホームページの「学校図書館だより」を掲載するページにおいて、当該交付金の活用に関して周知した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								